

『イオン』出店に伴う 周辺対策を万全に

中島 資二議員

・質問 隣接する工業用地に宅配事業者などが操業する中、イオンモール羽生がオープンする。

日曜祭日には、二万台を超える車が集まって来るといわれているが、アクセス道路、周辺道路の渋滞及び安全対策は、どうなっているか。

・答弁(都市整備部長)

まず、イオンモール羽生へのアクセス道路について、国道一三三号線からは、須影歩道橋交差点、須影団地交差点、市道〇一一四号線東端との交差点の三ヶ所、また県道鴻巣羽生線からは、砂山地内の市道〇一一四号線西端一ヶ所が

あり、これらの道路整備は、ほぼ完了している状況である。

加須市志多見地内の国道一二五号線へ抜ける道路については、市道〇一一六号線及び〇一三五号線が関係する。〇一一六号線は須影団地の東脇道路であり、〇一一四号線と交差する地点までは拡幅工事を行う。その地点から先、会の川までの道路で幅員四メートルが確保できるところはその施工をし、確保できない部分は、地元自治会の協働により、地域づくり推進事業により、

退避所の設置施工をすることとしている。〇一三五号線は、イオンモール羽生南側正面の道路であるが、会の川にかかる橋がない。このように二路線とも道路改良工事等が必要であるため、今後加須市と協議を行いながら検討していきたい。

また、周辺住民や通学路の安全対策としては、五ヶ所の交差点に信号機と横断歩道が設置されるとともに、住宅周辺に車が入ってこないよう、案内看板の設置により交通誘

その他の質問

・国道一二二号線の市内全線四車線化の見通しについて

* 協働による地域づくり推進事業とは

側溝等の修繕・蓋掛けや植栽など身近な生活環境の向上を図るために、住民は労力の提供を、市は資材等の支援をする形で、自治会と行政が連携して行う事業。

導を図る考えである。

* 青色防犯灯を設置して 防犯対策を

中島 直樹議員

・質問 以前、色彩効果に着目した犯罪抑止策として奈良県警が導入した青色防犯灯の取り組みがマスコミで紹介されていた。

最近では、県内でも戸田市が導入しているようであり、当市においても駅付近の駐輪場や自販機周辺、駐車場で車

・答弁(総務部長)

上狙いの多発箇所等、またオープン予定のイオンモール羽生周辺の公園に設置導入を検討してみたいかができるか。

たない。このための対策として市では、地域安全推進協議会、いわゆる藍のまちパトロール隊が中心となり、地域の防犯活動を実施しているところである。

防犯の一環として提案の青色防犯灯について、県内において設置している戸田市に確認を行った。そうしたところ、青色は色の特性として比較的遠くから非常に目立つ反面、光の真下では白色と比べると若干暗く感じる。平成十九年度から試験的に十基を導入し

その他の質問

・イオンモール周辺地区の防犯対策について

* 青色防犯灯とは
英国北部グラスゴーで、平成十二年に街路灯を青色に変えたところ犯罪が減少する副次的効果が表れたことにより、平成十七年に奈良県警が全国初の導入を行った。

検証してまいりたい。